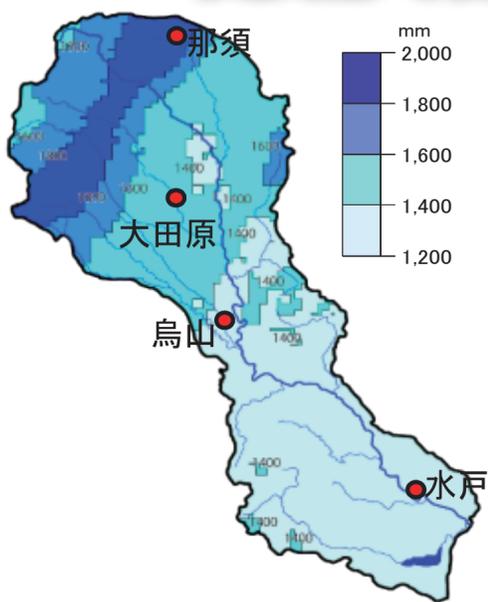


知っていますか？

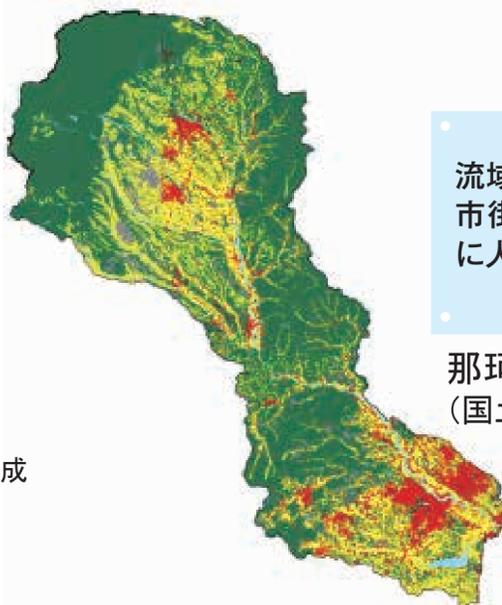
那珂川の水害

山間部で雨が降りやすく、下流部には人口が集中



流域の年間平均降水量は、約1,500mm※1
山間部で雨が降りやすい。

年間降雨量分布図
(1981～2010平均)
気象庁年降水量メッシュより作成
※1: 那須、大田原、烏山、水戸の1981～2010平均より流域平均年降水量を算出



流域内人口は約92万人。
市街地が発達する下流部に人口が集中しています。

那珂川の土地利用
(国土数値情報:平成21年)

凡例
 ■ 農耕地 ■ 山林・荒地
 ■ 市街地 ■ 河川・湖沼
 ■ その他(空き地等)

ひとたび洪水が起きると、
社会・経済・文化の基盤を形成している下流部の水害リスクは高い

那珂川における水害の歴史

那珂川ではこれまで
たびたび洪水が発生し、
大きな被害を受けています。

昭和以降の主な水害

年月(西暦)	被害状況
昭和13年6・7月(1938)	台風による洪水。5橋流出・沈下 被災者数17,000人超。
昭和16年7月(1941)	台風第8号による洪水。浸水戸数2,943戸。全半壊77戸。
昭和22年9月(1947)	カスリーン台風による洪水。浸水戸数2,919戸。全半壊85戸。
昭和36年6月(1961)	台風第6号による洪水。浸水戸数59戸※1
昭和61年8月(1986)	台風第10号による洪水。浸水戸数7,679戸(床上床下合計)。全半壊110戸。
平成3年9月(1991)	台風第12号による洪水。浸水戸数738戸。全半壊3戸。
平成10年8月(1998)	台風第4号による洪水。浸水戸数811戸。※2
平成11年7月(1999)	熱帯低気圧による洪水。浸水戸数403戸。全半壊15戸
平成14年7月(2002)	台風第6号による洪水。浸水戸数42戸
平成23年9月(2011)	台風第15号による洪水。浸水戸数101戸。

※1 栃木県区間の集計、茨城県区間は不明 ※2 茨城県区間の集計、栃木県区間は不明

昭和22年9月洪水
(カスリーン台風)

- 総雨量は水戸で381mmと水戸観測所の過去最大を記録
- 那珂川は大出水となり、水府橋で7.80mの水位を記録



水郡線鉄橋付近・水戸市

平成10年8月洪水
(台風第4号、停滞前線)

- 余笹川・黒川流域で死者6名



洪水によって流された寿橋(水戸市)



久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

【問い合わせ先】 国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所